

# 高大連携授業

乙訓高等学校ではスポーツ健康科学科を中心として高校と大学・専門学校と連携した高大連携授業、企業の研究者の方をお招きして講演会を行う産学連携授業を展開しています。

日 時：令和4年10月4日（火）

対 象：スポーツ健康科学科1年生（41名）、2年生（41名）

内 容：「チームを強くする条件 -効果的なリーダーシップとは？ -」

講 師：立命館大学スポーツ健康科学部 山浦一保 先生

組織・チームは「人」で成り立っています。そして、「人」は心を介して様々な経験をしていきます。そのような組織・チームが強く生き残っていくために必要な条件は何でしょうか？そこに、リーダーやリーダーシップはどう関わっていくと、人は楽しく生き生きと活動し成長することができるのかということについてスポーツ場面を例にとって詳しく解説していただきました。

リーダーシップとは、特定の人物のみが発揮できる「特別な能力」だと考える人が多いでしょうが、近年では一人が組織・チームを牽引するのではなく、組織やチームのメンバーの一人一人が主体性を持ちながら全員がリーダーシップをシェア（共有）し、組織の目標達成につなげる「シェアド・リーダーシップ」という理論が注目されています。その場その場で最適と思われるメンバーがリーダーシップを発揮し、リーダー以外のメンバーはフォロワーシップ（支援）を発揮します。組織・チーム全体の理解を深めるためにはリーダーシップとフォロワーシップの2つを持った双方向型のリーダーシップが大切になります。

「さっそく自分の所属する部活動で活かそう！」、「クラスの中でも活かせるかも？」、「将来進学してもっと組織心理学の勉強をしたいなあ！」と生徒達の眼が輝きっぱなしの素晴らしい雰囲気での授業でした。



